



平成29年度 生駒市市民満足度調査 調査結果報告<概要版>

1. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、第5次総合計画の後期基本計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた指標（各施設・サービスの満足度）の動向等を把握し、もって適切に進行管理を行うとともに、各施策を推進していくための基礎資料とすることに加え、第6次総合計画策定に向けた基礎資料とすることを目的とし、実施した。

2. 調査方法

- ◆調査地域 生駒市全域
- ◆調査対象 市内在住の満18歳以上の男女
- ◆対象者数 3,000人
- ◆抽出方法 住民基本台帳より層化無作為抽出
- ◆調査方法 郵送配布・郵送回収
- ◆調査期間 平成29年5月8日(月)～平成29年5月22日(月)
※5月15日(月)に全対象者に礼状兼督促状を送付
- ◆回収状況 有効回収数(率)：1,676件(55.9%)

3. 調査内容

- ① 定住意向・生駒市のイメージ・住みやすさの満足度（5項目）
- ② 地域活動などの参加について（2項目）
- ③ 施設の満足度（19項目）
- ④ 取組やサービスの満足度（24項目）
- ⑤ 市政への関心度（3項目）
- ⑥ 施策の重要度（25項目）
- ⑦ 総合計画に示す4年後のまちの進捗度（A：34項目、B：34項目、C：33項目）
- ⑧ 市民の役割分担について（A：18項目、B：18項目、C：19項目）
- ⑨ 属性質問（6項目）

※設問数が大量になることを考慮し、一部の問（⑦及び⑧）をA、B、Cの3種類に分けて作成した。
その際、調査対象者の所在地が均等になるよう区分している。

II. 主な調査結果

1. 定住意向・生駒市のイメージ・住みやすさの満足度

(1) 定住意向とその理由

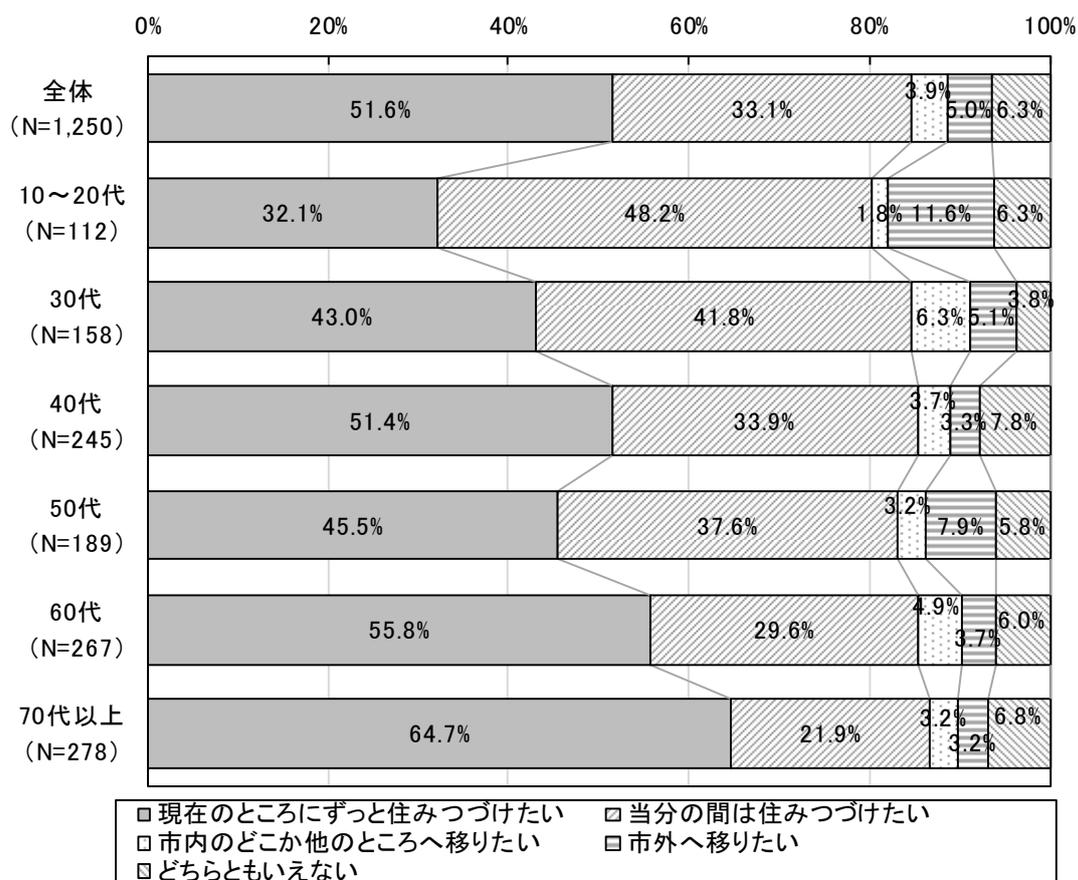
・定住意向（住みつづけたいと考えている人）は **84.7%**。住みつづけたいと思う主な理由の上位は「自然環境が豊かである」「閑静な住宅地である」「買い物など日常生活が便利である」で、移りたいと思う理由の上位は「買い物など日常生活が不便である」「いまの住居に不満」「公園や道路など都市基盤が不十分である」

問 あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思われますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

定住意向については、「現在のところにずっと住みつづけたい」（51.6%）と「当分の間は住みつづけたい」（33.1%）を合わせた『定住意向』は **84.7%** となっている。

年齢別で見ると、「現在のところにずっと住みつづけたい」では、50代を除き概ね年齢が高くなるにつれて割合も高くなり70代以上が **64.7%** で最も高く、『定住意向』では、全ての年代で **8割** を上回っている。

〈定住意向（年齢別）〉

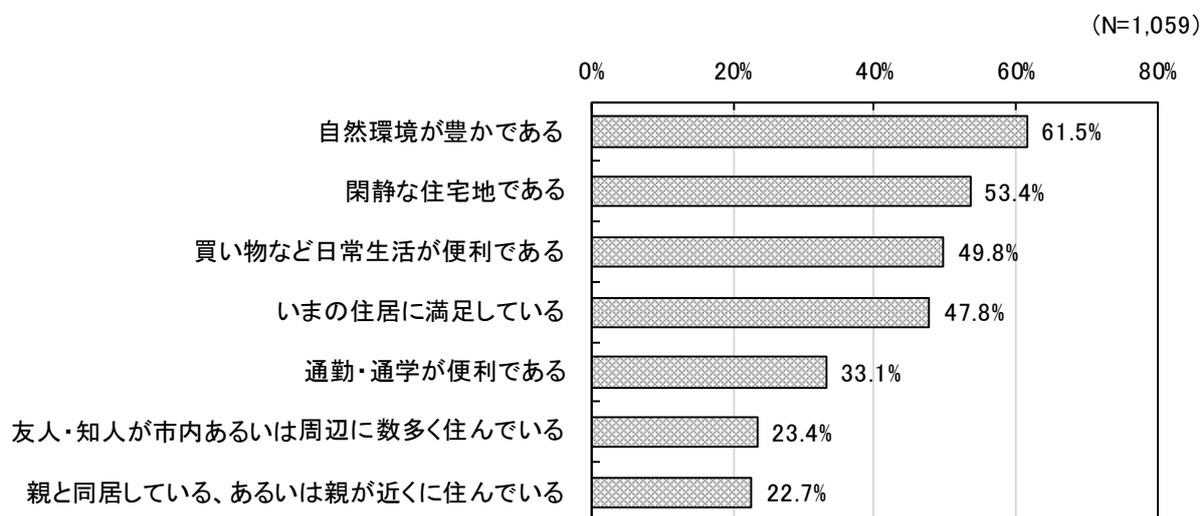


「現在のところずっと住みつづけたい」「当分の間は住みつづけたい」と回答した方

付問 住みつづけたいと思う理由を、次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

住みつづけたいと思う理由については、「自然環境が豊かである」が61.5%で最も高く、次いで「閑静な住宅地である」が53.4%、「買い物など日常生活が便利である」が49.8%と続いている。

〈住み続けたい理由（上位7項目）〉

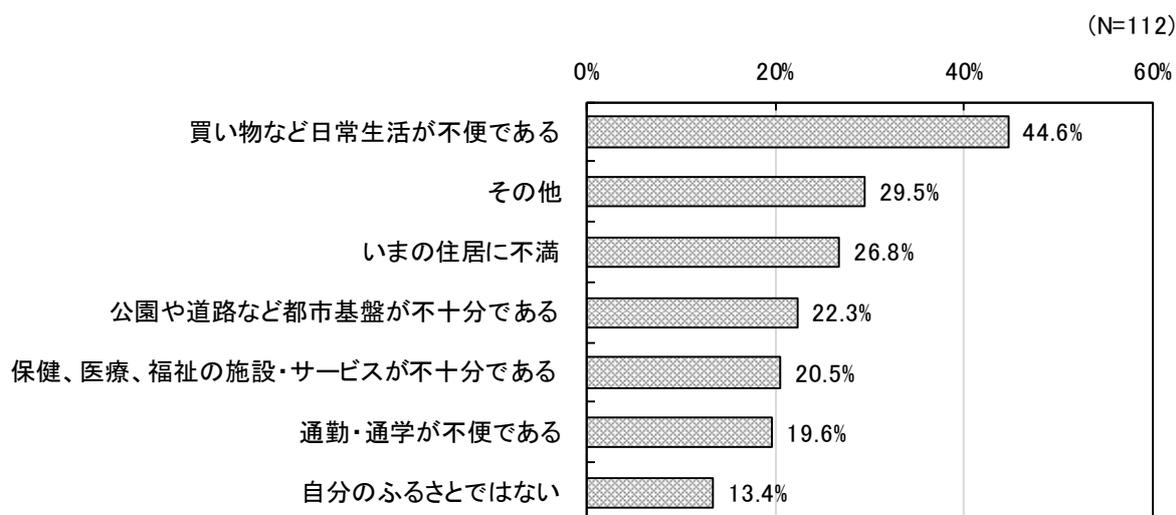


「市内のどこか他のところへ移りたい」「市外へ移りたい」と回答した方

付問 移りたいと思う理由を、次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

移りたいと思う理由については、「買い物など日常生活が不便である」が44.6%で最も高く、次いで「その他」が29.5%、「いまの住居に不満」が26.8%と続いている。

〈移りたい理由（上位7項目）〉

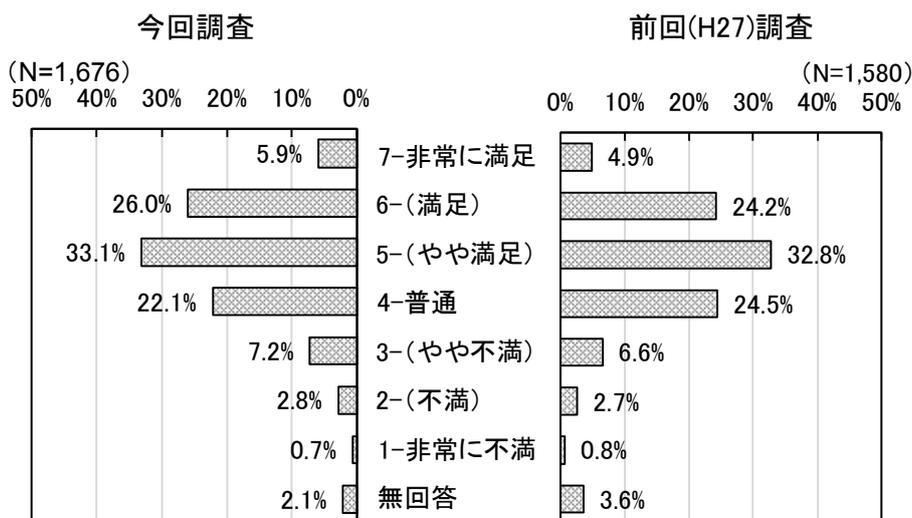


(2) 住みやすさの満足度

・住みやすさの満足度の平均は7段階で4.9で、前回調査時より0.1上昇している

問 毎日の暮らしを総合的に考えた場合、現在住んでいる地域の住みやすさについて、どの程度満足されていますか。「非常に満足」を7。「非常に不満」を1。と考え、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

現在の住みやすさの満足度については、「5-(やや満足)」が33.1%で最も高く、次いで「6-(満足)」が26.0%、「4-普通」が22.1%と続いており、平均は4.9で前回調査の4.8よりも0.1上昇している。

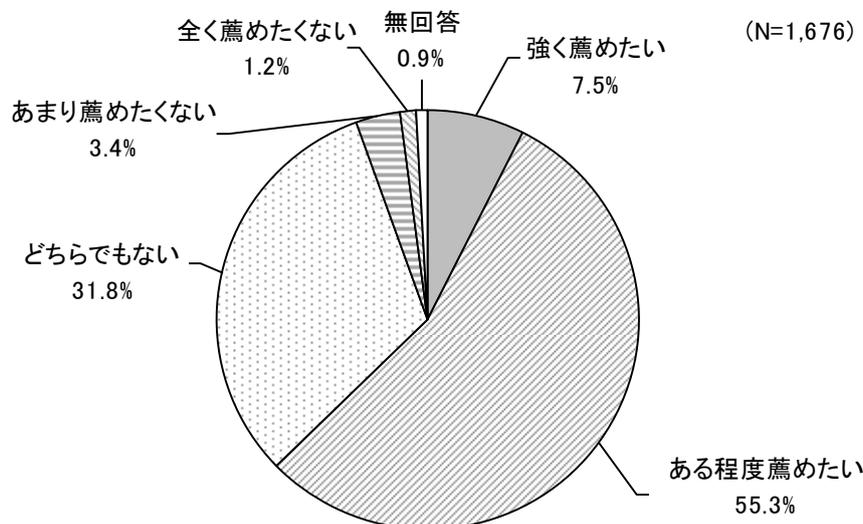


(3) 居住の推薦度

・約6割の人が生駒市への居住を薦めたいと思っている

問 毎日の暮らしを総合的に考えた場合、生駒市への居住を知人にどの程度薦めたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

居住の推薦度については、「ある程度薦めたい」が55.3%で最も高く、次いで「どちらでもない」が31.8%、「強く薦めたい」が7.5%で、『薦めたい』合計は62.7%となっている。



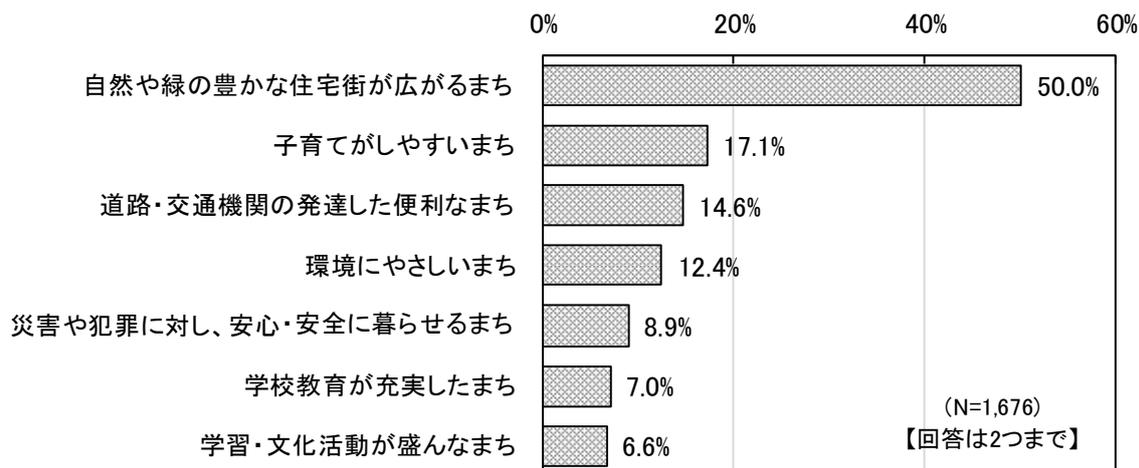
(4) 生駒市のイメージ

・生駒市のイメージの上位 3 つは、「自然や緑の豊かな住宅街が広がるまち」「子育てがしやすいまち」「道路・交通機関の発達した便利なまち」

問 現在の生駒市は、どのようなまちだと思われませんか。あてはまるものを2つ選び、番号に○をつけてください。

生駒市のイメージについては、「自然や緑の豊かな住宅街が広がるまち」が 50.0%で最も高く、次いで「子育てがしやすいまち」が 17.1%、「道路・交通機関の発達した便利なまち」が 14.6%と続いている。

〈生駒市のイメージ（上位7項目）〉

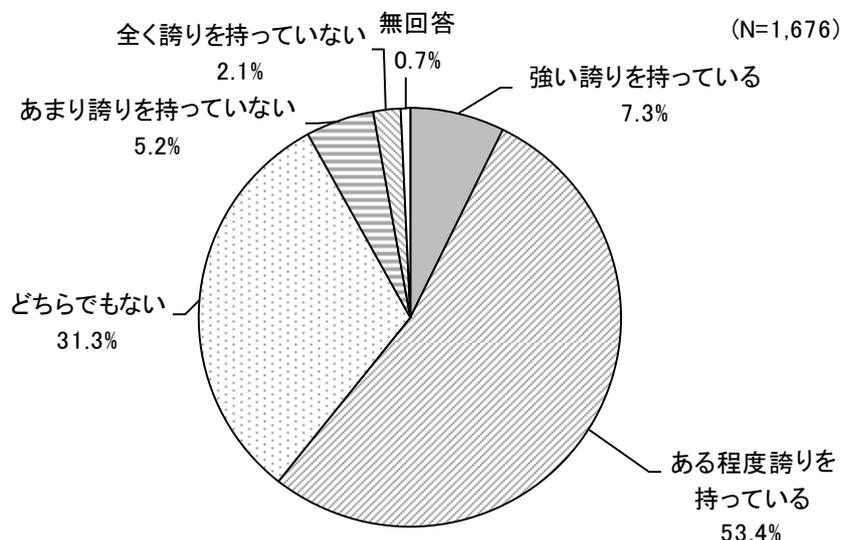


(5) 市民としての誇り

・約 6 割の人が生駒市に住んでいることに誇りを持っている

問 生駒市に住んでいることに、どの程度誇りを持っていますか？あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

市民としての誇りについては、「ある程度誇りを持っている」が 53.4%で最も高く、次いで「どちらでもない」が 31.3%、「強い誇りを持っている」が 7.3%と続いております、『誇りを持っている』合計は 60.7%となっている。



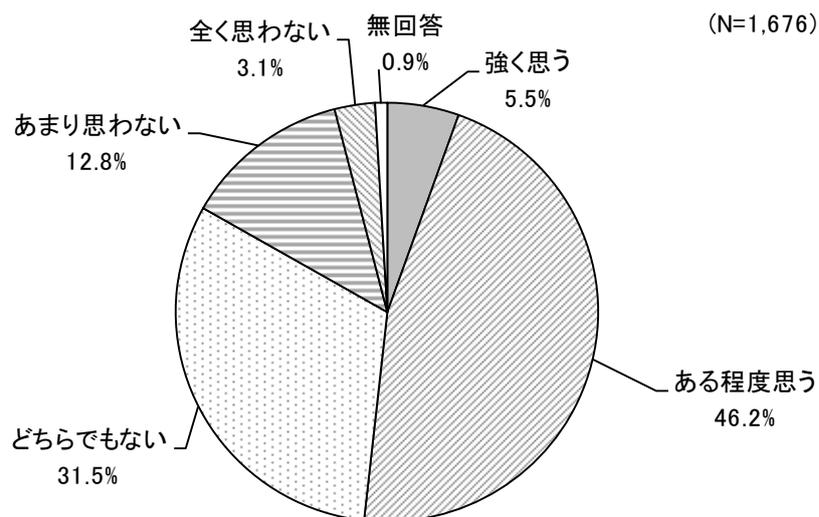
2. 地域活動などの参加について

(1) 参加意向

・約 5 割の人が地域活動へ参加したいと思っている

問 あなたは、まちや地域をより良くしていくために、活動したいとどの程度思いますか？あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

地域活動の参加意向については、「ある程度思う」が46.2%で最も高く、次いで「どちらでもない」が31.5%、「あまり思わない」が12.8%と続いており、『思う』合計は51.7%となっている。



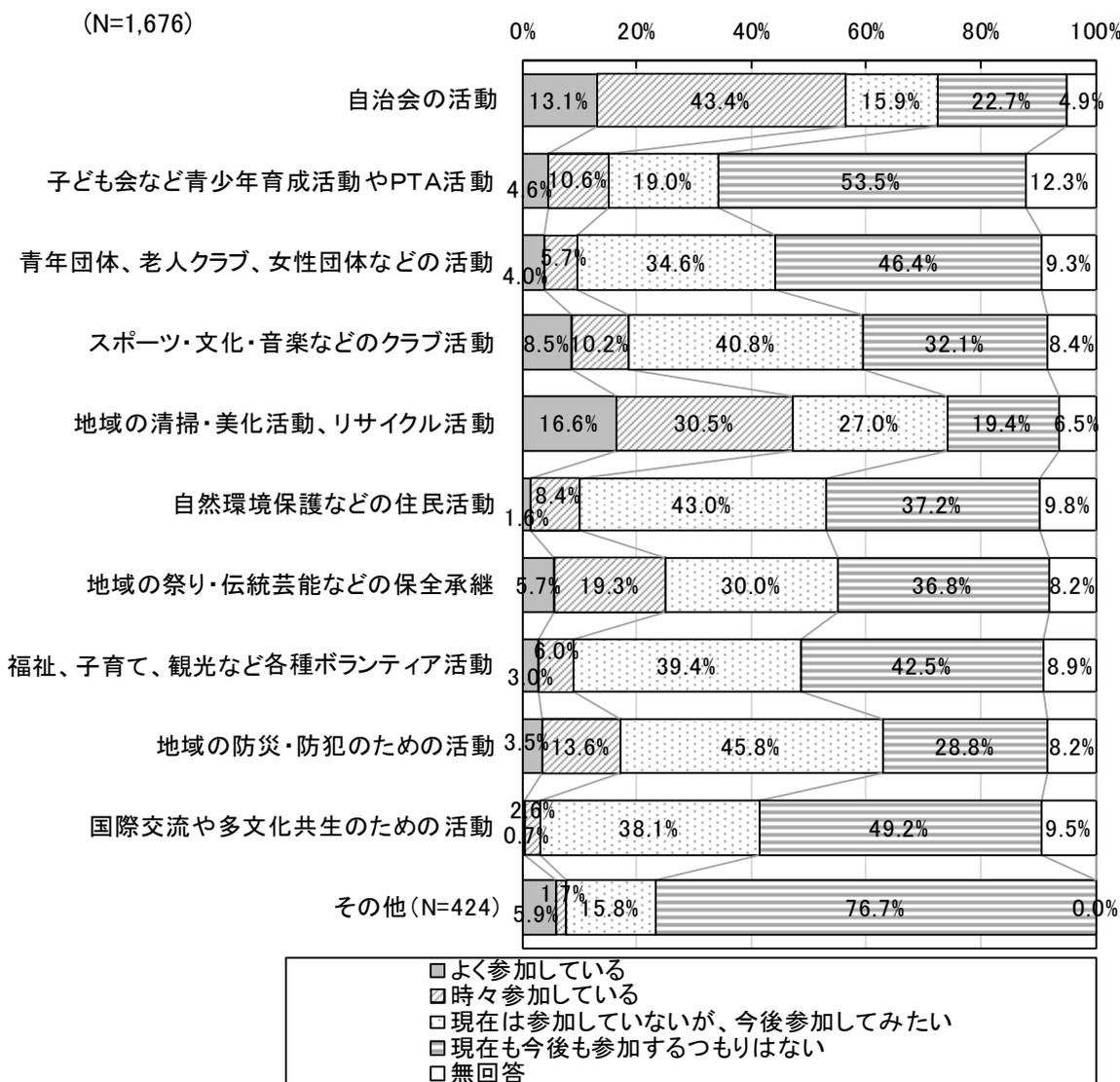
(2) 参加状況

・地域活動の参加状況については、「自治会の活動」に参加している人が最も多く、現在は参加していないが、今後参加してみたい活動については、「地域の防災・防犯のための活動」が最も多い

問 あなたは現在、まちや地域をより良くしていくため、どのような活動に参加していますか。また今後の参加の予定はいかがですか。(1)～(11)の項目に対し、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

地域活動の参加状況については、『参加している』（「よく参加している」と「時々参加している」の合計）では、「自治会の活動」が56.5%で最も高く、次いで「地域の清掃・美化活動、リサイクル活動」が47.1%、「地域の祭り・伝統芸能などの保全承継」が25.1%と続いている。

また、「現在は参加していないが、今後参加してみたい」では、「地域の防災・防犯のための活動」が45.8%で最も高く、次いで「自然環境保護などの住民活動」が43.0%、「スポーツ・文化・音楽などのクラブ活動」が40.8%と続いており、「現在も今後も参加するつもりはない」では、「その他」が76.7%で最も高く、次いで「子ども会など青少年育成活動やPTA活動」が53.5%、「国際交流や多文化共生のための活動」が49.2%と続いている。

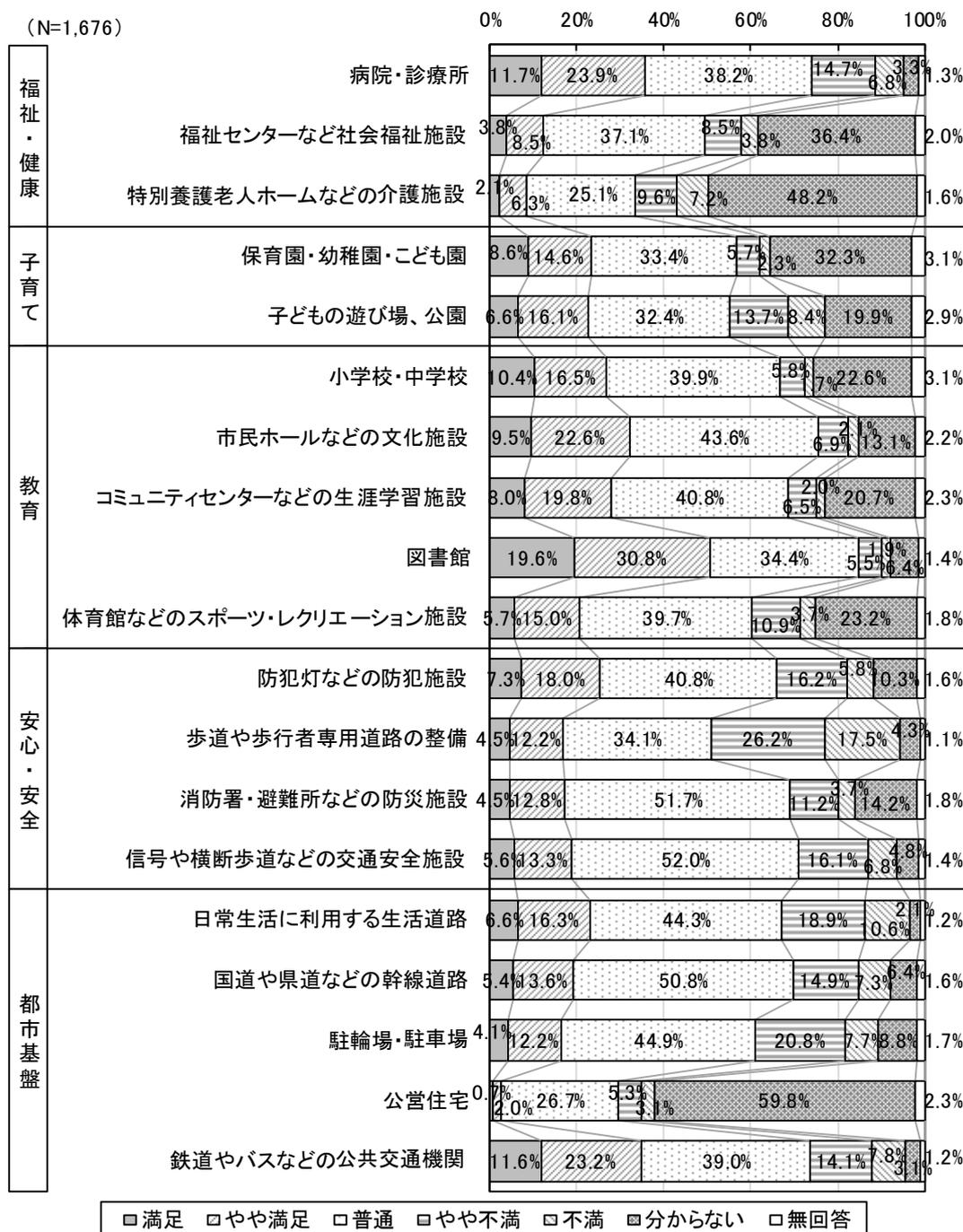


3. 施設の満足度

・施設の満足度については、「図書館」「病院・診療所」「鉄道やバスなどの公共交通機関」の順で満足度が高く、「歩道や歩行者専用道路の整備」「日常生活に利用する生活道路」「駐輪場・駐車場」の順で不満度が高い

問 生駒市における次の施設について、現状の「満足度」（施設の数や近くにあるかどうかなど）をおたずねします。次の(1)～(19)の各項目について、あなたの思いにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

施設の満足度については、「図書館」（満足計 50.4%）が最も満足度が高く、次いで「病院・診療所」（満足計 35.6%）、「鉄道やバスなどの公共交通機関」（満足計 34.8%）と続いており、「歩道や歩行者専用道路の整備」（不満計 43.7%）が最も不満度が高く、次いで「日常生活に利用する生活道路」（不満計 29.4%）、「駐輪場・駐車場」（不満計 28.5%）と続いている。

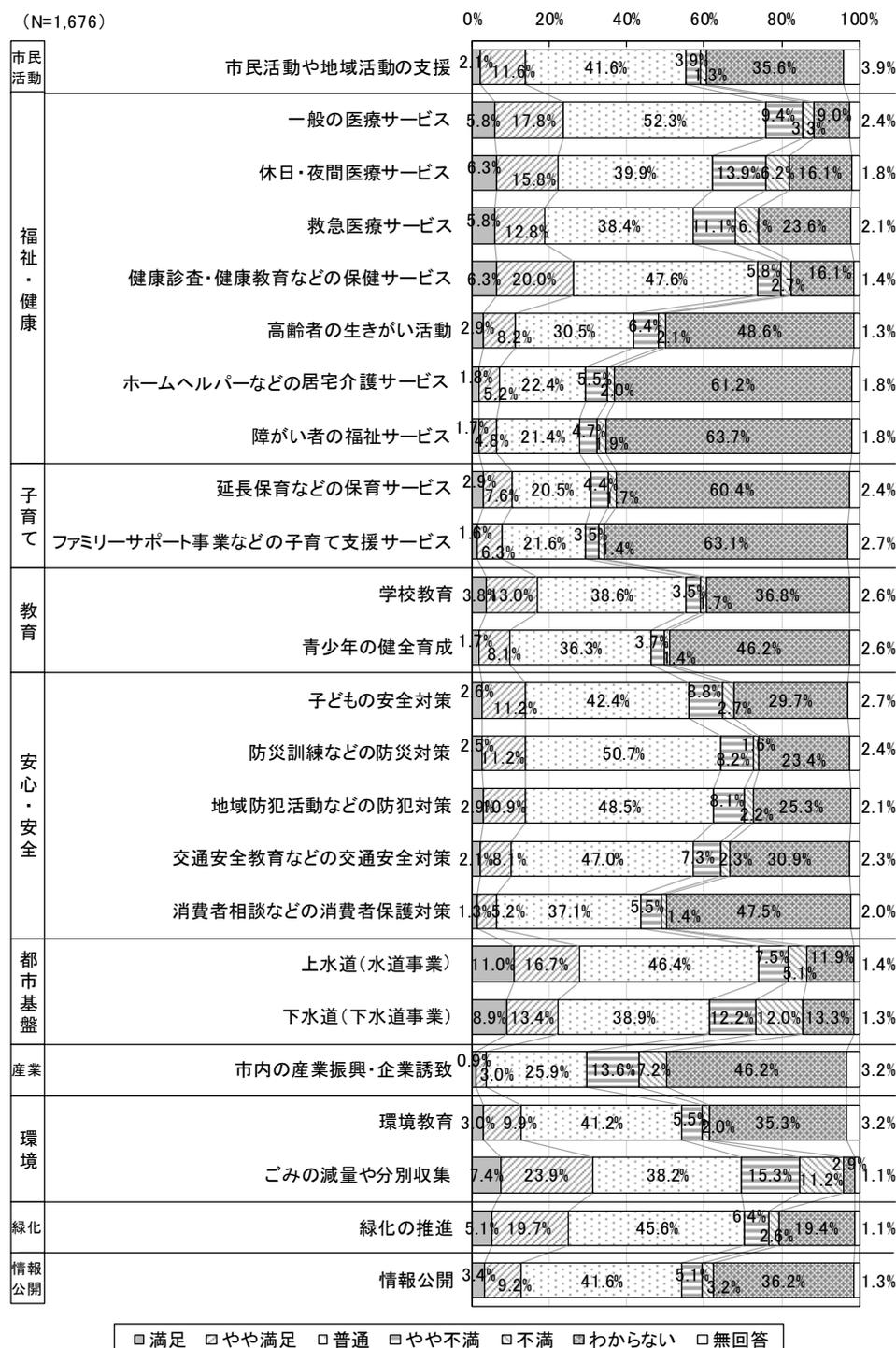


4. 取組やサービスの満足度

・取組やサービスの満足度については、「ごみの減量や分別収集」「上水道（水道事業）」「健康診査・健康教育などの保健サービス」の順で満足度が高く、「ごみの減量や分別収集」「下水道（下水道事業）」「市内の産業振興・企業誘致」の順で不満度が高い

問 生駒市が実施している取組やサービス（内容や質）について、現状の「満足度」をおたずねします。次の(1)～(24)の各項目について、あなたの思いにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

取組やサービスの満足度については、「ごみの減量や分別収集」（満足計 31.3%）が最も満足度が高く、次いで「上水道（水道事業）」（満足計 27.7%）、「健康診査・健康教育などの保健サービス」（満足計 26.3%）と続いており、「ごみの減量や分別収集」（不満計 26.6%）が最も不満度が高く、次いで「下水道（下水道事業）」（不満計 24.2%）、「市内の産業振興・企業誘致」（不満計 20.8%）と続いている。



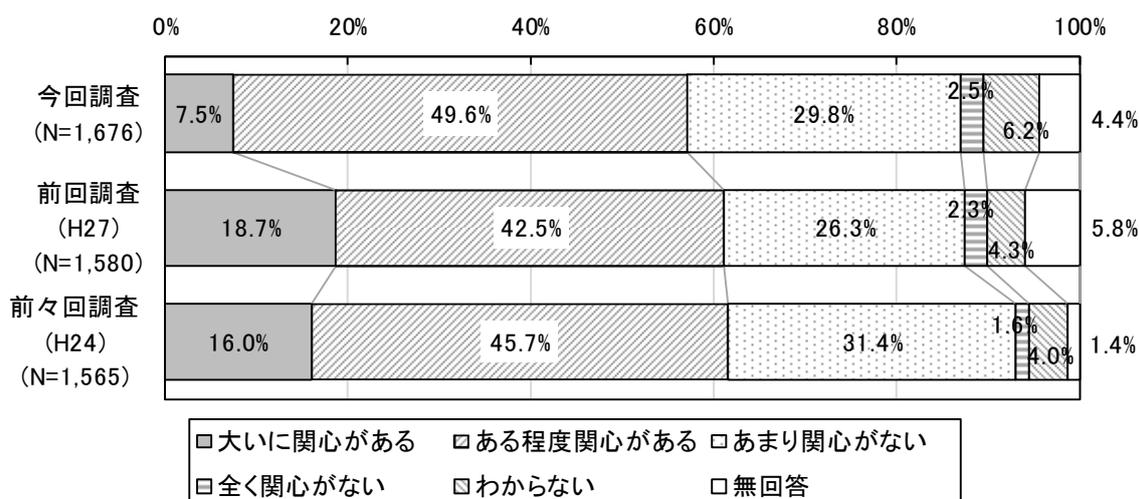
5. 市政への関心度

(1) 市政への関心と関心のない理由

・市政に関心を持っている人は約 6 割で、関心がない理由は「日中は仕事や学校でほとんど市外に出ているから」が最も多い

問 あなたは生駒市の市政について、どの程度関心をお持ちですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

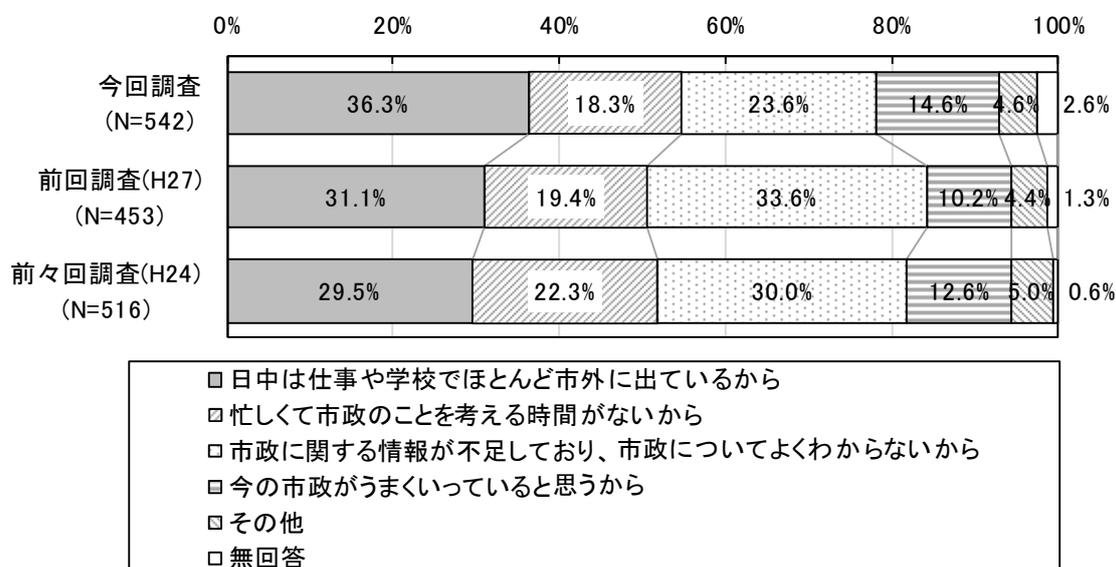
市政への関心については、「ある程度関心がある」が 49.6%で最も高く、次いで「あまり関心がない」が 29.8%、「大いに関心がある」が 7.5%と続いており、『関心がある』合計は 57.1%で、前回調査（平成 27 年度）の 61.2%よりも 4.1 ポイント減少している。



「あまり関心がない」「全く関心がない」と回答した方

付問 市政に関心がない理由を1つ選び、番号に○をつけてください。

市政に関心がない理由については、「日中は仕事や学校でほとんど市外に出ているから」が 36.3%で最も高く、次いで「市政に関する情報が不足しており、市政についてよくわからないから」が 23.6%、「忙しくて市政のことを考える時間がないから」が 18.3%と続いている。

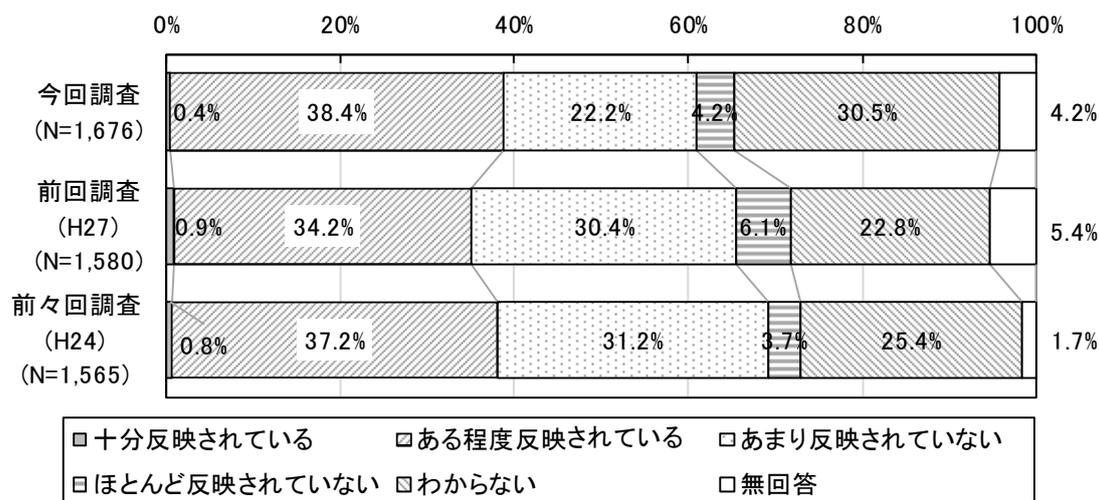


(2) 市政への市民の意向の反映状況と反映されていないと考える理由

・市政への市民の意向が反映されていると考える人は約 4 割で、反映されていない理由は「市に意見や要望を伝えている市民層が限られているから」が最も多い

問 現在の市政には、市民の意向がどの程度反映されているとお考えですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

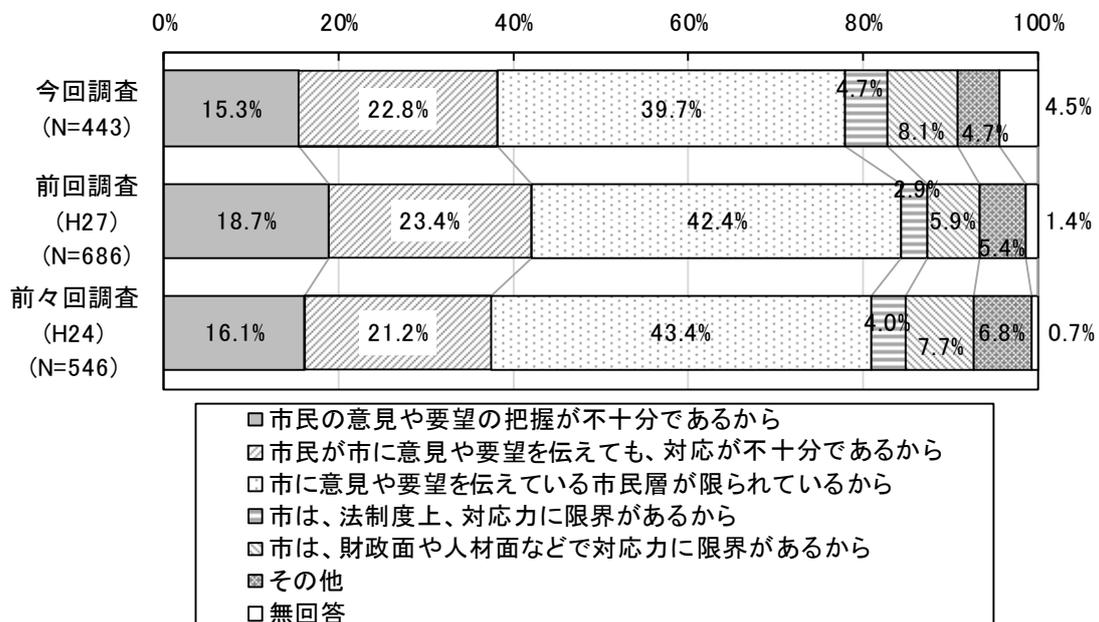
市政への市民の意向の反映状況については、「ある程度反映されている」が 38.4%で最も高く、次いで「わからない」が 30.5%、「あまり反映されていない」が 22.2%と続いており、『反映されている』合計は 38.8%で、前回調査（平成 27 年度）の 35.1%よりも 3.7 ポイント増加している。



「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」と回答した方

付問 市民の意向が反映されていないと考える理由について、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

市民の意向が反映されていないと考える理由については、「市に意見や要望を伝えている市民層が限られているから」が 39.7%で最も高く、次いで「市民が市に意見や要望を伝えても、対応が不十分であるから」が 22.8%、「市民の意見や要望の把握が不十分であるから」が 15.3%と続いている。

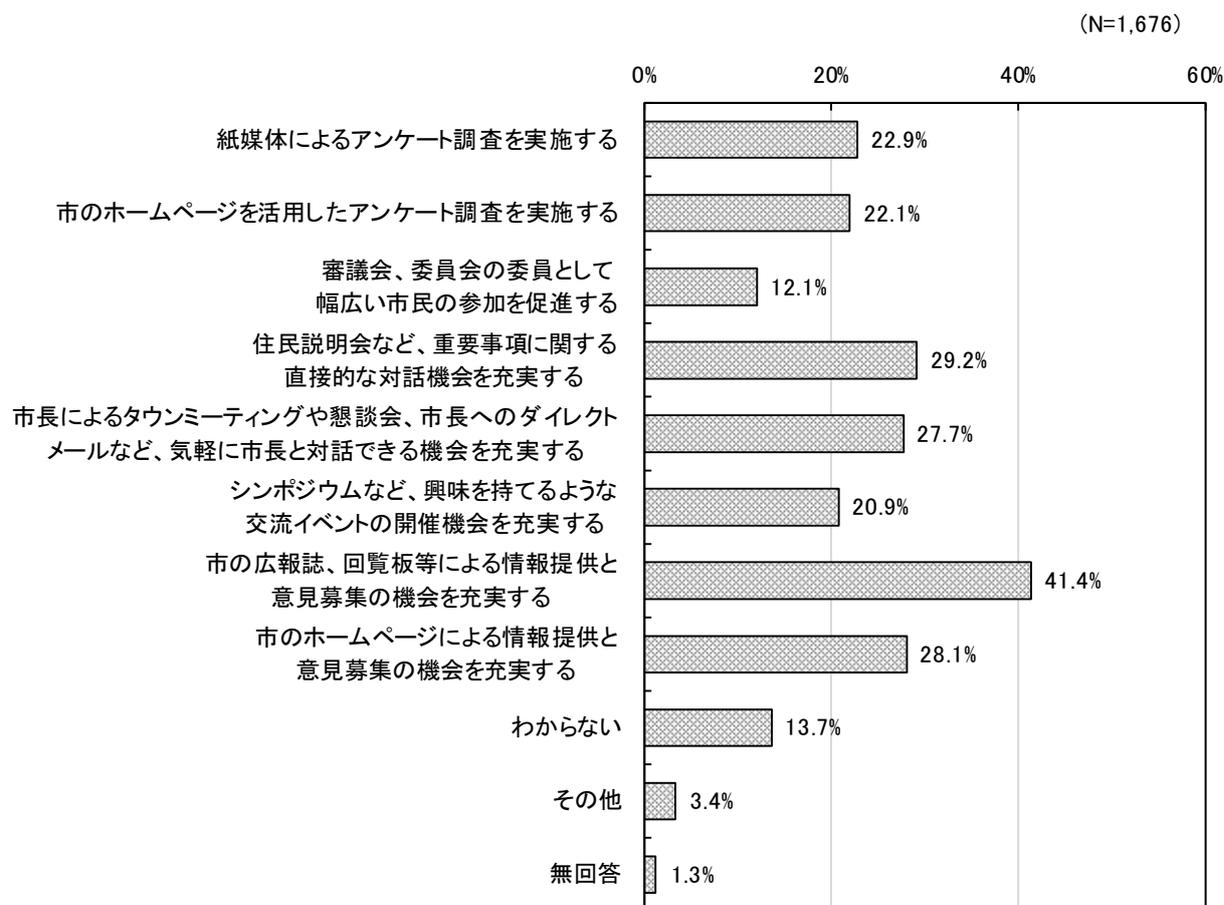


(3) 市民の意向をより市政に反映させるために強化すべき取組

・市民の意向をより市政に反映させるために強化すべき取組については、「市の広報誌、回覧板等による情報提供と意見募集の機会を充実する」を望む人が最も多い

問 市民の意向をより市政に反映させるため、市政にかかる情報提供や市民と行政との対話について、どのような取組を強化すべきと考えますか。重要と考えるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

市民の意向をより市政に反映させるために強化すべき取組については、「市の広報誌、回覧板等による情報提供と意見募集の機会を充実する」が41.4%で最も高く、次いで「住民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会を充実する」が29.2%、「市のホームページによる情報提供と意見募集の機会を充実する」が28.1%と続いている。



6. 施策の重要度

・重要だと思う施策の上位は「医療サービスの充実」「生活の安全の確保」「学校教育の充実」「子育て支援の充実」「高齢者の生活を支えるサービスの実施」

問 生駒市では、つぎのような各分野の施策に取り組んでいます。次の(1)～(25)の各分野の重要性について、あなたの思いにもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

施策の重要度については、『重要計』（「重要」と「やや重要」の合計）では、「医療サービスの充実」が82.3%で最も高く、次いで「生活の安全の確保」が75.3%、「学校教育の充実」が74.9%、「子育て支援の充実」が74.8%、「高齢者の生活を支えるサービスの実施」が74.4%と続いており、上位5項目は前回調査と同じ項目となっている。

また、『重要計』の下位4項目は「学研都市との連携」（36.5%）、「農業の振興」（41.1%）、「観光と多様な交流の促進」（42.2%）、「商業・工業の振興」（46.2%）となっており、『地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力のまち』の4項目が下位4項目を占めている。

<『重要計』（「重要」+「やや重要」）の比率上位10項目>

順位	施策	重要計 比率	前回 調査 順位	前回 調査 比率
1	医療サービスの充実	82.3%	1	78.9%
2	生活の安全の確保	75.3%	4	72.8%
3	学校教育の充実	74.9%	2	72.8%
4	子育て支援の充実	74.8%	5	72.2%
5	高齢者の生活を支えるサービスの実施	74.4%	3	72.8%
6	地域防災体制の充実	72.1%	6	69.0%
7	生活環境の整備	70.9%	9	67.7%
8	健全で効率的な行財政運営の推進	70.9%	7	68.9%
9	障がい者の生活を支えるサービスの実施	69.7%	8	68.2%
10	交通ネットワークの整備	66.9%	11	63.3%

<『重要計』（「重要」+「やや重要」）の比率下位10項目>

順位	施策	重要計 比率	前回 調査 順位	前回 調査 比率
25	学研都市との連携	36.5%	25	37.1%
24	農業の振興	41.1%	23	42.0%
23	観光と多様な交流の促進	42.2%	24	39.2%
22	商業・工業の振興	46.2%	22	46.6%
21	地域活動・市民活動の活性化	52.3%	17	55.4%
20	まちづくりにおける市民の参画と協働	53.2%	16	56.3%
19	文化・スポーツ活動の推進	55.0%	21	50.9%
18	適切な土地利用の推進	55.8%	19	53.7%
17	環境配慮社会の構築	57.0%	15	56.6%
16	生涯学習の推進	58.9%	18	54.1%

7. 総合計画に示す4年後のまちの進捗度

・総合計画に示す4年後のまちの進捗度で『思う』の回答が多い上位3項目は、「安全で安心できる水道水を安定して供給している」「ごみ排出のルールが守られ、資源化による燃やすごみの減量化が一層進んでいる」「豊かな自然環境に恵まれた生活が維持されている」

問 生駒市が実現を目指す「4年後のまち」の姿に対し、市の現状をどのように感じておられるかをおたずねします。次の各項目について、あなたの実感にもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

※調査票Aは34項目、調査票Bは34項目、調査票Cは33項目の計101項目

総合計画に示す4年後のまちの進捗度については、『思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）では、「安全で安心できる水道水を安定して供給している。」が75.6%で最も高く、次いで「ごみ排出のルールが守られ、資源化による燃やすごみの減量化が一層進んでいる。」が58.9%、「豊かな自然環境に恵まれた生活が維持されている。」が55.8%と続いている。

また、『思わない』（「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計）では、「マイカーで出かける割合が減り、公共交通を利用する市民の割合が高くなっている。」が44.8%で最も高く、次いで「本市の地域資源を活かした取組が進められ、観光地など本市へ来訪者が訪れている。」が36.5%、「本市の新しい特産品やお土産等の開発・PRを進めるなど、訪れた観光客や市民の満足度が高まる取組が行われている。」が29.6%と続いており、「判断できない」と「無回答」の合計では、「生活保護制度が適正に運用され、生活に困窮している方の自立支援、就労支援が行われている。」が42.2%で最も高く、次いで「読み書きやコミュニケーション等で困っている幼児・児童・保護者に通級指導等を実施し、通級者の社会適応能力が高まっている。」が40.8%、「市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。」が38.7%と続いている。

<『思う』（「そう思う」+「どちらかというと思う」）の比率上位10項目>

順位	施策体系	アンケート種類	生駒市が目指す「4年後のまち」の姿	思う比率	前回調査順位	前回調査比率
1	344-1	B	安全で安心できる水道水を安定して供給している。	75.6%	1	73.4%
2	331-2	B	ごみ排出のルールが守られ、資源化による燃やすごみの減量化が一層進んでいる。	58.9%	2	58.5%
3	351-1	A	豊かな自然環境に恵まれた生活が維持されている。	55.8%	3	57.2%
4	211-2	B	健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。	53.0%	4	53.4%
5	352-2	A	花と緑であふれるまちに向けて、着実に取組が進んでいる。	49.5%	5	52.3%
6	343-1	A	環境美化の取組が進み、より一層きれいなまちになっている。	49.2%	6	51.6%
7	344-2	C	上水道について健全で効率的な事業経営を継続している。	48.5%	12	43.8%
8	442-2	C	国民健康保険制度等の健全な運営が図られ、誰もが安心して医療を受けている。	48.5%	8	46.4%
9	341-1	B	下水道や合併処理浄化槽の普及が進み、生活排水や事業所排水が適正に処理されている。	47.9%	11	44.3%
10	222-1	C	児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。	47.2%	9	46.1%

<『思わない』(『そう思わない』+『どちらかというと思わない』)の比率上位10項目>

順位	施策体系	アンケート種類	生駒市が目指す「4年後のまち」の姿	思わない比率	前回調査順位	前回調査比率
1	322-2	C	マイカーで出かける割合が減り、公共交通を利用する市民の割合が高くなっている。	44.8%	1	45.1%
2	541-1	C	本市の地域資源を活かした取組が進められ、観光地など本市へ来訪者が訪れている。	36.5%	2	38.8%
3	541-2	A	本市の新しい特産品やお土産等の開発・PRを進めるなど、訪れた観光客や市民の満足度が高まる取組が行われている。	29.6%	4	29.5%
4	532-1	A	魅力ある商業機能が整い、市内での消費が拡大されている。	28.3%	3	33.3%
5	481-1	C	歩行者も交通用具利用者もみんなが、交通ルール・交通マナーを守る意識が高まり、安全に道路が利用されている。	26.4%	5	27.7%
6	532-2	B	商工業者の経営が安定し、市内での企業活動が一層活発になっている。	25.2%	10	25.5%
7	531-1	B	自然環境と調和した良好な工業団地が形成され、職住近接の住みやすいまちになっている。	23.3%	23	21.3%
8	312-2	C	高齢者や障がい者など住生活に対する弱者が、安心して楽しく暮らせる住宅環境の整備が進んでいる。	22.9%	11	24.7%
9	531-2	C	工業団地内の立地環境の整備にあわせ、企業立地が進んでいる。	22.9%	6	27.3%
10	242-2	C	市民が生駒市の歴史文化に興味を持ち、文化の担い手となっている。	22.7%	7	26.4%

<「判断できない」+「無回答」の回答比率上位10項目>

順位	施策体系	アンケート種類	生駒市が目指す「4年後のまち」の姿	判断できない+無回答比率	前回調査順位	前回調査比率
1	442-3	A	生活保護制度が適正に運用され、生活に困窮している方の自立支援、就労支援が行われている。	42.2%	1	40.5%
2	223-2	A	読み書きやコミュニケーション等で困っている幼児・児童・保護者に通級指導等を実施し、通級者の社会適応能力が高まっている。	40.8%	5	35.9%
3	521-1	C	市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。	38.7%	3	36.1%
4	531-2	C	工業団地内の立地環境の整備にあわせ、企業立地が進んでいる。	38.6%	3	36.1%
5	223-3	B	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者に対して、専門的な相談員等による教育相談が行われている。	38.2%	2	39.4%
6	451-1	B	障がい者が住み慣れた地域の中で、自立して生活している。	35.9%	6	32.6%
7	144-1	C	少数精鋭で効率的・効果的な組織体制となっている。	34.3%	7	31.8%
8	232-3	A	地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年の育成が進んでいる。	33.8%	14	29.3%
9	222-2	A	子どもの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識をはぐくみ、心の教育が充実している。	33.6%	9	30.2%
10	141-2	B	総合計画の進行管理が適切に行われ、計画の目標が達成されている。	32.7%	11	29.6%

8. 市民の役割分担について

- ・取り組んでいる人が多い項目は、「交通ルール、交通マナーを守っている」「ごみのポイ捨てや不法投棄をしていない」「テレビやラジオ、ピアノなど、音量や時間帯により近隣に迷惑となる生活騒音を出していない」
- ・取り組んでいない人が多い項目は、「奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなど、イベントに参加・協力している」「市職員の応対等に対する要望を伝えている」「積極的にスポーツイベントなどに参加している」

問 総合計画に示した市民の役割（一部抜粋）について、各分野における取組状況をおたずねします。次の項目について、あなたの状況にもっとも近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

市民の役割分担については、『取り組んでいる計』（「十分取り組んでいる」と「取り組んでいる」の合計）では、「交通ルール、交通マナーを守っている。」が88.6%で最も高く、次いで「ごみのポイ捨てや不法投棄をしていない。」が87.4%、「テレビやラジオ、ピアノなど、音量や時間帯により近隣に迷惑となる生活騒音を出していない。」が86.3%と続いている。

また、『取り組んでいない計』（「あまり取り組んでいない」と「全く取り組んでいない」の合計）では、「奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなど、イベントに参加・協力している。」が79.2%で最も高く、次いで「市職員の応対等に対する要望を伝えている。」が79.0%、「積極的にスポーツイベントなどに参加している。」が71.8%と続いている。

<『取り組んでいる計』（「十分取り組んでいる」+「取り組んでいる」）の割合上位10項目>

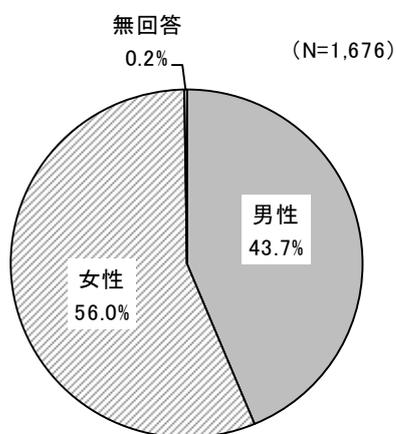
順位	施策体系	アンケート種類	市民一人のできること	取り組んでいる計比率	前回調査順位	前回調査比率
1	481	C	交通ルール、交通マナーを守っている。	88.6%	1	88.0%
2	343	A	ごみのポイ捨てや不法投棄をしていない。	87.4%	2	86.2%
3	342	C	テレビやラジオ、ピアノなど、音量や時間帯により近隣に迷惑となる生活騒音を出していない。	86.3%	4	80.0%
4	331	C	マイバッグを持参して買い物をし、レジ袋の排出抑制に努めている。	82.8%	3	81.5%
5	321	A	歩道上に自転車や不要なものを放置しないよう心がけている。	74.8%	5	71.1%
6	421	C	健康や食、運動に関心を持っている。	67.5%	7	67.8%
7	473	B	住宅用火災警報器を設置している。	66.8%	8	66.6%
8	431	A	かかりつけ医を持つなど、普段から健康管理を心がけている。	64.7%	11	64.5%
9	352	A	庭先や窓辺に植栽などの緑化を行っている。	62.7%	9	64.9%
10	344	B	水の大切さを理解し、日頃から節水や水の有効利用を心がけている。	61.0%	10	64.9%

＜『取り組んでいない計』（「あまり取り組んでいない」+「全く取り組んでいない」）の割合上位10項目＞

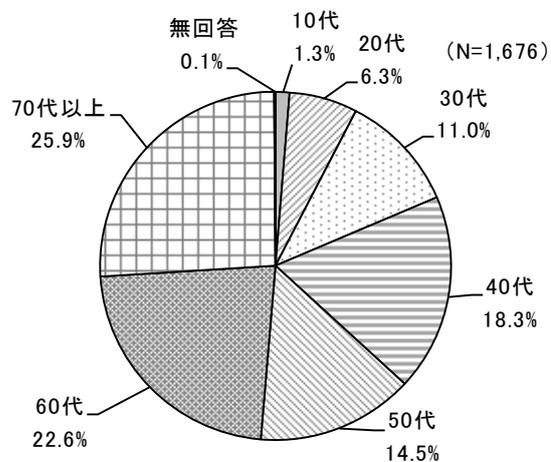
順位	施策体系	アンケート種類	市民一人のできること	取り組んでいない計比率	前回調査順位	前回調査比率
1	511	B	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなど、イベントに参加・協力している。	79.2%	2	73.8%
2	144	A	市職員の対応等に対する要望を伝えている。	79.0%	1	76.6%
3	243	C	積極的にスポーツイベントなどに参加している。	71.8%	4	71.2%
4	411	B	地域福祉活動へ積極的に参加している。	69.5%	5	66.0%
5	222	C	児童・生徒の登下校の時間に合わせた道路掃除、散歩、買い物等による子どもたちの見守り活動を行っている。	67.2%	7	61.6%
6	311	A	地域のまちづくりに関心をもち、無理なくできることからまちづくり活動を始めている。	66.9%	13	53.5%
7	231	B	生涯学習の必要性和目的を理解し、積極的に生涯学習活動を行っている。	66.4%	9	58.1%
8	223	A	特別支援教育を理解し、その教育に協力している。	66.0%	6	65.9%
9	141	A	市のアンケートやパブリックコメントで意見・要望を述べている。	64.0%	8	60.9%
10	531	A	企業立地に対して理解を深めている。	63.4%	10	56.6%

9. 調査対象者の属性

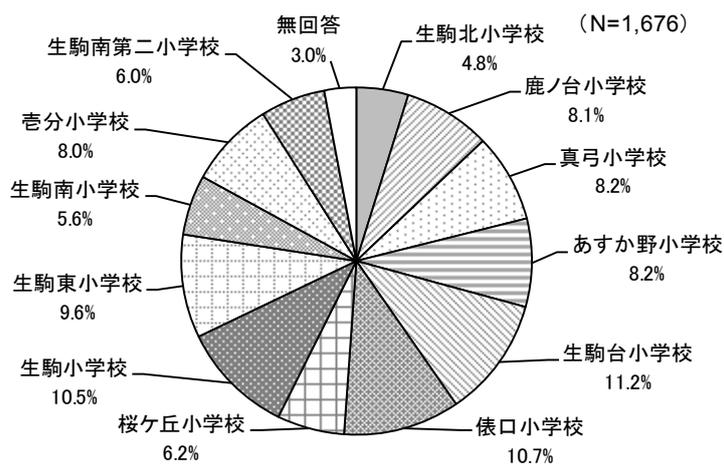
<性別>



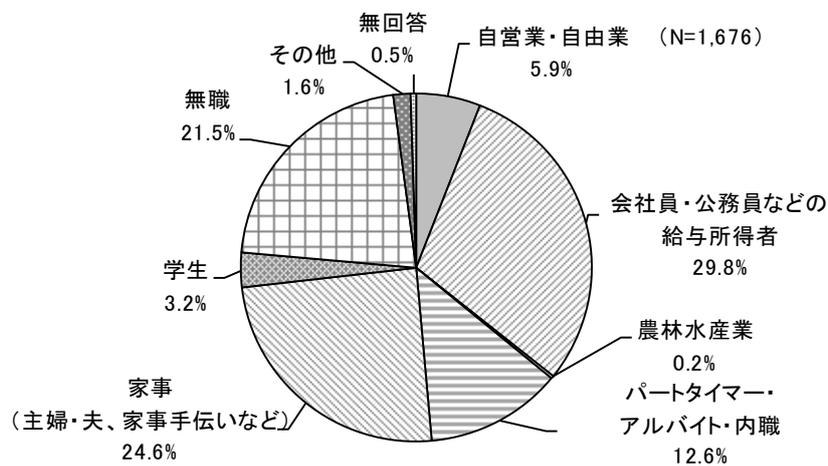
<年齢>



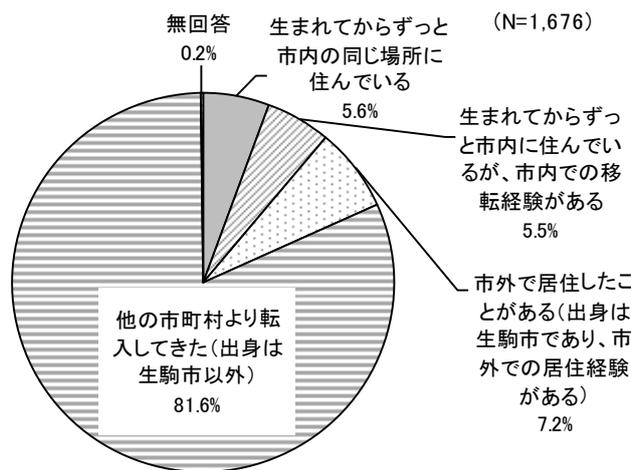
<居住小学校区>



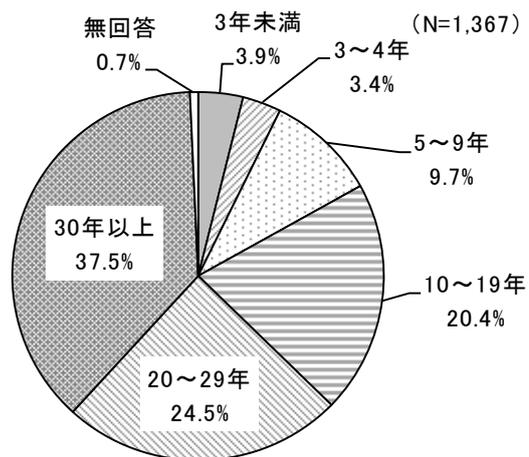
<職業>



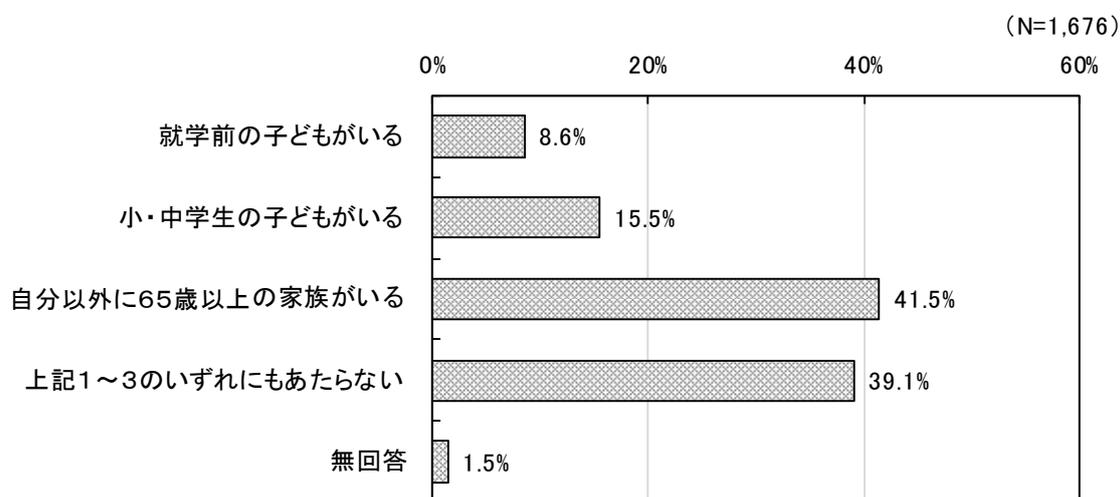
<居住状況>



<生駒市での居住年数(他市から転入)>



<家族の状況>



<就学前の子どもの通園状況>

